

# Ⅰ 第2次かすがい市民文化振興プランの概要

## (1) 基本理念と基本目標

### I 基本理念

この第2次文化振興プランでは、「文化・スポーツ都市」宣言の趣旨を受け、また文化振興基本条例で定めた基本理念を実現するため、本市が目指すべき10年後の姿として計画に掲げる理念を次のとおりとします。

**世代を越えて響き合う 文化創造のまち春日井**

### II 基本目標

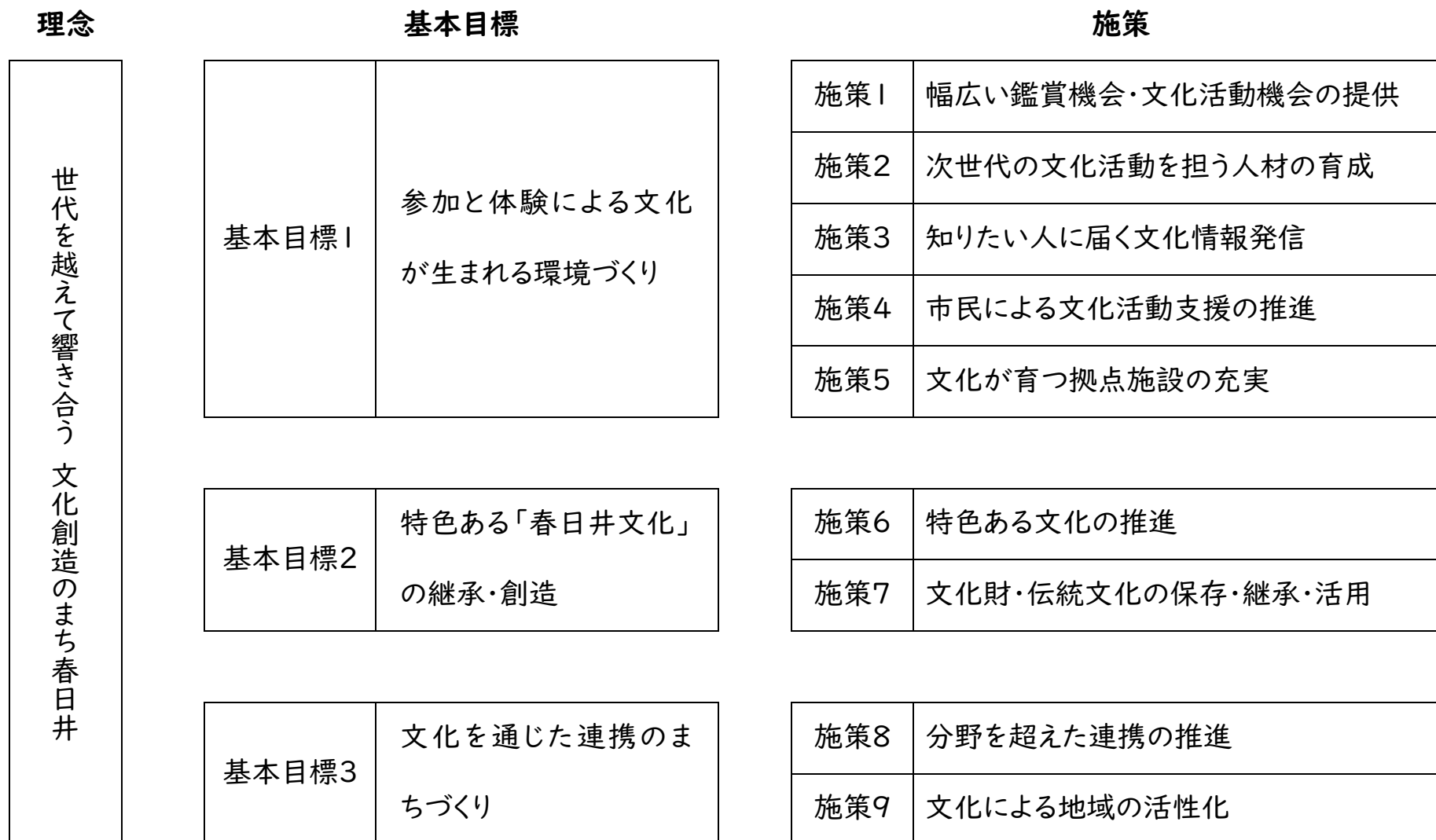
計画に掲げる理念を達成するために、次の3つの基本目標を定めます。

**基本目標1 参加と体験による文化が生まれる環境づくり**

**基本目標2 特色ある「春日井文化」の継承・創造**

**基本目標3 文化を通じた連携のまちづくり**

## (2) 施策の体系



## 2 第2次かすがい市民文化振興プラン 平成30年度進捗状況評価票

令和元年10月7日開催の令和元年度第2回春日井市文化振興審議会において春日井市（文化スポーツ部文化・生涯学習課）より平成30年度の進捗状況を報告し、文化振興審議会の点検・評価を受けたものです。

### < 凡例 >

各事業の達成度（自己評価）については、次の4段階で評価を行った。

- A 実施し、成果が得られた。
- B 実施したが、計画どおりの成果は得られなかった。
- C 検討したが、実施に至らなかった。
- D 実施・検討に至らなかった。

# (1) 施策ごとの評価

## 基本目標1 参加と体験による文化が生まれる環境づくり

### 施策① 幅広い鑑賞機会・文化活動機会の提供

#### 施策ごとの事業の成果

#### (1) 多彩な文化芸術のより身近な鑑賞機会の提供

##### ア 地域に身近な会場での鑑賞・交流機会の提供

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
まちかどコンサート 【文化・生涯学習課】 ＜単年度事業＞	コンサートグループ 「花の詩」と協働し、 市内各所でコンサ ートを開催	【平成30年度の実績】 文化フォーラム春日井、市民病院、東部市民センター、福祉 の里レインボープラザ、市内デイサービスセンターほかでコ ンサートを12回開催 鑑賞者 計2,153人、出演者 延べ80人	市民グループと協働し、 市民に身近な場所でク ラシックの生演奏を楽し める貴重な機会を提供 することができた。	A 実施し、成果が 得られた。
あ〜とふるマイタウン(芸 術家等派遣事業) 【文化・生涯学習課】	音楽、書、伝統芸能 に関する芸術家を公 民館や学校等の身 近な施設に派遣	【平成30年度の実績】 実施プログラム 9、実施回数 21回(前年度比2回減) ＜内訳＞ 音楽(クラシック・和楽器)4プログラム、12回 書(篆刻を含む)3プログラム、3回 伝統芸能(落語・日本舞踊)2プログラム、6回	保育園や小学校、地区 社会福祉協議会などか ら多数の応募があり、市 民に鑑賞・体験の機会 を提供することができ た。	A 実施し、成果が 得られた。

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
かすがいどこでもアート・ドア 【かすがい市民文化財団】	学校や保育園、福祉施設などにアーティストを派遣し、特別授業やコンサートを実施	【平成30年度の実績】 派遣アーティスト 5名、実施回数 12回(前年度比2回減) <内訳> 俳優・演出家 3回、文芸(歌人) 3回 美術家 4回、舞踊(ダンサー) 1回、音楽(ギター) 1回	文化財団のミッションに基づく普及啓発事業の柱として実施し、芸術を間近で感じられる機会を提供することができた。	A 実施し、成果が得られた。
ふれあいセンター、ハーモニー春日井等でのコンサート 【文化・生涯学習課】	地元で活躍する音楽家を招き、市民が気軽に音楽を楽しむことができるコンサートを開催	【平成30年度の実績】 西部ふれあいセンター(フレッシュコンサート、セタコンサート、クリスマスコンサート) 3回 ハーモニー春日井(ウインターコンサート) 1回	地域住民を中心とした市民に、身近で文化芸術を鑑賞できる機会を提供することができた。	A 実施し、成果が得られた。

### イ 近隣美術館等との連携の推進

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
かすがい熟年大学 【文化・生涯学習課】	高齢者が健康で生きがいのある生活を送ることができるよう、学習の場を提供	【平成30年度の実績】 熟年大学5コースのうち、芸術文化コースで県内美術館の学芸員に講師を依頼 県内美術館の展覧会の内容に合わせた講義を実施 碧南市藤井達吉現代美術館 館長、徳川美術館 学芸部長 名古屋造形大学 特任教授(愛知県美術館「至上の印象派展」)	近隣美術館の展示内容を紹介することで、実際に美術館に足を運ぶことを促し、美術作品鑑賞へ繋げる機会を創出することができた。	A 実施し、成果が得られた。

### ウ 文化芸術強調月間(仮称)の創設

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
該当なし 【文化・生涯学習課】		【平成30年度の実績】 平成29年度には文化・スポーツ都市宣言に伴う関連事業を行ったことや平成30年度は市制75周年記念事業が実施されていたため、文化芸術強調月間の創設は検討に至らなかった。		D 実施、検討には至らなかった。

### エ 幅広い分野の文化芸術を鑑賞・体験する機会の提供

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
市民美術展覧会 【文化・生涯学習課(かすがい市民文化財団に事業委託)】	市民が制作した美術作品(日本画・洋画・書・彫塑工芸・写真)の発表と鑑賞の場を提供	【平成30年度の実績】 第67回展 8月25日(土)~9月2日(日) 出品数 746点(前年度比47点減)、鑑賞者 11,384人 会場 市役所10~12階、文化フォーラム春日井 出品資格 市内在住または在勤・在学の高校生以上(出品無料)	審査員解説を行うことで、出品者の励みとなり、また鑑賞のサポートするなど、美術作品の発表・鑑賞の機会を提供することができた。	A 実施し、成果が得られた。
市民第九演奏会 【文化・生涯学習課(実行委員会に事業委託<事務局:中部大学>)】	合唱及び演奏を行う市民に練習の場と発表の場を提供し、市民手作りの演奏会を開催	【平成30年度の実績】 2018春日井市民第九演奏会 12月2日(日) 出演者 328人(指揮者・ソリスト5人、交響楽団80人、合唱団214人、賛助出演29人)(前年度比2人減)、入場者875人(前年度比85人増)	合唱参加者には6か月間、22回の練習機会を提供するなど、出演者と鑑賞者に芸術を楽しむ機会を提供することができた。	A 実施し、成果が得られた。

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
短詩型文学祭 【文化・生涯学習課(かすがい市民文化財団に事業委託)】	短歌、俳句、川柳、狂俳(一般の部のみ)、詩の作品を公募し、入選作品を掲載した作品集を作成。作品展では特別賞受賞作品等を展示	【平成30年度の実績】 第38回文学祭 作品展 1月26日(土)~2月11日(月・祝) 出品数 一般の部(高校生以上)733点、小・中学生の部22,713点、計 23,446点(前年度比514点増)、鑑賞者2,480人 会場 文化フォーラム春日井 出品資格 市内在住または在勤・在学(出品無料)	表彰式では、市長賞受賞者のスピーチもあり、鑑賞者の共感を呼ぶ機会となっている。幅広い鑑賞者があり、文芸作品の発表・鑑賞の機会を提供することができた。	A 実施し、成果が得られた。
小野道風公奉賛全国書道展覧会(道風展) 【文化・生涯学習課(運営委員会に事業委託<事務局:かすがい市民文化財団>)】	書作品を全国から公募し、春日井市で生まれたと伝えられる小野道風の偉業を顕彰するとともに、展覧会を開催	【平成30年度の実績】 第70回展 10月28日(日)~11月4日(日) 出品数 一般部340点、学生部(高校生以下)5,981点、計6,321点(前年度比178点減)、鑑賞者 5,017人 会場 市役所10~12階、文化フォーラム春日井、道風記念館 出品資格 制限なし(出品料有料)	公募の案内を全国の高校・大学、書関連の美術館で配布するなど「書のまち春日井」を全国発信するとともに、高いレベルの作品が数多く寄せられ、書道文化の振興を図ることができた。	A 実施し、成果が得られた。
自主文化事業(鑑賞系事業) 【かすがい市民文化財団】	幅広く、質の高い魅力的な事業を実施し、年齢や性別、社会的状況等に関わらず誰もが芸術を鑑賞できる機会を提供	【平成30年度の実績】 舞台系:松竹大歌舞伎 入場者1,878人、アラジンと魔法のランプ 入場者1,575人、南野陽子&葛西聖司 伝統芸能の魅力発見! 入場者479人、フォレストコンサート 入場者963人、山下洋輔スペシャル・ビッグバンド・コンサート 入場者792人、柳家小三治独演会 入場者977人、花形狂言2018 真夏の狂言大作戦! 入場者421人、こまつ座「母と暮せば」 入場者462人 美術系:西本喜美子写真展 入場者 3,598人、いのまたむつみ展 入場者2,778人、歌人・鈴掛真 短歌展 入場者835人	ジャンルの偏りなく、幅広い芸術文化事業を展開し、多くの鑑賞者を得ることができた。また、将来の鑑賞人口開拓策にも積極的に取り組み、世代の網羅も進めることができた。	A 実施し、成果が得られた。



事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
道風記念館展示 【道風記念館】	小野道風の偉業を 顕彰し後世に伝える とともに、書専門の美 術館として、様々な展 覧会を開催	【平成30年度の実績】 特別展「琉球の書」鑑賞者489人 企画展「没後30年坪井正庵かな作品展」鑑賞者1,383人 企画展「おののとうふう～中国の書と和様の書～」鑑賞者 1,474人 館蔵品展「書体の変遷Ⅱ」鑑賞者1,335人、「書の魅力」鑑 賞者3,068人、「近現代の書(明治・大正編)」鑑賞者647 人 年間観覧者数8,652人(前年比988人減)	書を専門とし、毎回異な ったテーマを設け、全て の展示を自主企画し、専 門家から高評価を得る 質の高い展覧会を継続 開催することができた。	A 実施し、成果が 得られた。
ニュータウンきずな事業 【東部市民センター】	地域住民の再生と誇 りの象徴である「ど んぐり」をキーワード とした2つの事業と囲 碁大会を開催	【平成30年度の実績】 どんぐり東部公民館まつり 6月16日・17日、参加者1,996 人 どんぐりキッズ公民館 8月4日、参加者1,935人 リニューアル記念イベント 2月9日、参加者2,820人 囲碁大会 2月11日、参加者56人	高蔵寺ニュータウン地 区の「地域の拠点」とし て、文化事業による住民 の「出会い」と「きずな」 づくりの場として、地域 交流や世代間交流の活 性化を図る機会を創り 出すことができた。	A 実施し、成果が 得られた。

オ 舞台公演、展覧会等に関連した体験事業の開催

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
自主文化事業 (鑑賞系事業) 【かすがい市民文化財 団】 《再掲》	幅広く、質の高い魅力的な事業を実施し、年齢や性別、社会的状況等に関わらず誰もが芸術を鑑賞できる機会を提供	<b>【平成30年度の実績】</b> 舞台系：日曜シネマ「輝ける人生」関連事業 ダンスワークショップ参加者24人 美術系：西本喜美子写真展関連事業「一日限定写真講座」参加者73人、「あの時決まった写真展」出品者44人、歌人・鈴掛真 短歌展「初めての短歌ワークショップ」参加者19人	鑑賞事業の関連事業として体験講座、ワークショップを開催することで、理解を深める機会を提供することができた。	A 実施し、成果が得られた。
道風記念館講座 【道風記念館】	書の鑑賞の手助けとなり、書に親しみを持ってもらえるような講座を開催	<b>【平成30年度の実績】</b> 館蔵品展「書体の変遷Ⅱ」関連講座「楷書・行書・草書 三体の臨書」(全6回)受講者47人 館蔵品展「近現代の書」関連講座「近現代の書の魅力」(全4回)受講者61人	展覧会を鑑賞し、実技講座を受講することで、書への関心・理解を深める機会を提供することができた。	A 実施し、成果が得られた。

## (2) 子どもたちが文化芸術を体験する機会の提供

### ア 子ども向け舞台公演、展覧会等の開催と関連する体験事業の実施

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
自主文化事業 (鑑賞系事業) 【かすがい市民文化財団】 《再掲》	幅広く、質の高い魅力的な事業を実施し、年齢や性別、社会的状況等に関わらず誰もが芸術を鑑賞できる機会を提供	【平成30年度の実績】 舞台系:松竹大歌舞伎 小中高生向け演目解説 対象者51人 物語付きクラシックコンサート「アラジンと魔法のランプ」(親子向けのクラシックコンサート、登場人物が作曲家などについて解説) 入場者1,575人	親子向けの公演や、小中高生向けに歌舞伎の演目解説をすることで、若年層が芸術文化に対する関心・理解を深める機会を提供することができた。	A 実施し、成果が得られた。
道風記念館展示 道風記念館講座 【道風記念館】 《再掲》	子どもの書の鑑賞の手助けとなる解説をほどこした展示と、書に親しめるワークショップを開催	【平成30年度の実績】 企画展「おののとうふう～中国の書と和様の書～」 鑑賞者1,474人 関連ワークショップ 「道風くんチャレンジ!」参加者80人 「秘密の特訓」参加者128人 「はじめてのふで」参加者128人 計336人<定員超過>	毎年切り口を変えて夏休みに開催している企画展にあわせてワークショップを開催。多くの小学生に体験の機会を提供することができた。	A 実施し、成果が得られた。

## イ 青少年鑑賞サポートプログラムの充実

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
青少年鑑賞サポートプログラム 【かすがい市民文化財団】	高校生以下を対象に舞台系事業を500円又は無料で、美術系事業を無料で鑑賞できるプログラムを提供	【舞台系】松竹大歌舞伎 対象者32人、南野陽子&葛西聖司 伝統芸能の魅力発見! 対象者5人、柳家小三治独演会 対象者18人、花形狂言2018 真夏の狂言大作戦! 対象者27人、こまつ座「母と暮せば」 対象者27人、かすがい芸術劇場 対象者12人、演劇×自分史 カスガイ創造プロジェクト(無料) 対象者8人 【美術系】西本喜美子写真展 対象者198人、いのまたむつみ展 対象者287人、歌人・鈴掛真 短歌展 対象者41人	小中高校生が芸術文化に直接触れる機会をサポートすることができた。	A 実施し、成果が得られた。

## ウ 小中学校への芸術家等の派遣

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
あ〜とふるマイタウン(芸術家等派遣事業) 【文化・生涯学習課】 《再掲》	音楽、書、伝統芸能に関する芸術家を公民館や学校等の身近な施設に派遣	【平成30年度の実績】 実施プログラム 9、実施回数 21回(前年度比2回減) <内訳> 音楽(クラシック・和楽器)4プログラム、12回 書(篆刻を含む)3プログラム、3回 伝統芸能(落語・日本舞踊)2プログラム、6回	保育園や小学校、地区社会福祉協議会などから予定回数を上回る応募があり、市民に鑑賞・体験の機会を提供することができた。	A 実施し、成果が得られた。
かすがいどこでもアート・ドア 【かすがい市民文化財団】 《再掲》	学校や保育園、福祉施設などにアーティストを派遣し、特別授業やコンサートを実施	【平成30年度の実績】 派遣アーティスト 5名、実施回数 12回(前年度比2回減) <内訳> 俳優・演出家 3回、文芸(歌人) 3回 美術家 4回、舞踊(ダンサー) 1回、音楽(ギター) 1回	文化財団のミッションに基づく普及啓発事業の柱として実施。芸術を身近で感じられる機会を提供することができた。	A 実施し、成果が得られた。

### (3) 働く世代、若い世代の文化活動の促進

#### ア 親子と一緒に鑑賞・体験できる事業の充実

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
自主文化事業 (鑑賞系事業) 【かすがい市民文化財団】 《再掲》	幅広く、質の高い魅力的な事業を実施し、年齢や性別、社会的状況等に関わらず誰もが芸術を鑑賞できる機会を提供	【平成30年度の実績】 【舞台系】松竹大歌舞伎 小中高生向け演目解説 51人 物語付きクラシックコンサート「アラジンと魔法のランプ」(親子向けのクラシックコンサート、登場人物が作曲家などについて解説) 1,575人 親子のためのはじめての音楽会 340人	親子向けの公演を実施したり、小中高校生向けに歌舞伎の演目解説をすることで、若年層が芸術文化に対する関心・理解を深める機会を提供することができた。	A 実施し、成果が得られた。
青少年鑑賞サポートプログラム 【かすがい市民文化財団】 《再掲》	高校生以下を対象に舞台系事業を500円又は無料で、美術系事業を無料で鑑賞できるプログラムを提供	【舞台系】松竹大歌舞伎 対象者32人、南野陽子&葛西聖司 伝統芸能の魅力発見! 対象者5人、柳家小三治独演会 対象者18人、花形狂言2018 真夏の狂言大作戦! 対象者27人、こまつ座「母と暮せば」 対象者27人、かすがい芸術劇場 対象者12人、演劇×自分史 カスガイ創造プロジェクト(無料) 対象者8人 【美術系】西本喜美子写真展 対象者198人、いのまたむつみ展 対象者287人、歌人・鈴掛真 短歌展 対象者41人	小中高校生が芸術文化に直接触れる機会をサポートすることができた。	A 実施し、成果が得られた。
かすがい文化フェスティバル 【かすがい市民文化財団】	茶華道や和楽器などの伝統文化や工作、書道などを体験できるワークショップを開催	【平成30年度の実績】 スペシャルデイ 7月29日(日) 363人 オープニングコンサート、14講座×2回(協力:文化協会・美術協会) ワークショップ 8月2日(木)~30日(木) 5講座 349人 夕涼みシネマ 8月18日(土) 325人	小学生にはなじみの薄い茶華道、日本舞踊などの伝統文化や書などを体験する機会を提供することができた。	A 実施し、成果が得られた。

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
道風記念館展示 道風記念館講座 【道風記念館】 《再掲》	子どもの書の鑑賞の 手助けとなる解説を ほどこした展示と、書 に親しめるワークショ ップを開催	【平成30年度の実績】 企画展「おののとうふう～中国の書と和様の書～」 鑑賞者1,474人 関連ワークショップ 「道風くんにチャレンジ!」参加者80人 「秘密の特訓」参加者128人 「はじめてのふで」参加者128人 計336人<定員超過>	毎年切り口を変えて夏 休みに開催している企 画展にあわせてワークシ ョップを開催。多くの小 学生に体験の機会を提 供することができた。	A 実施し、成果が 得られた。

#### イ 託児付き鑑賞事業等の充実

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
自主文化事業 (舞台系事業) 【かすがい市民文化財 団】 《再掲》	ファミリー向け公演の うち、対象年齢が設 定されている公演な どで託児サービス (有料)を実施	【平成30年度の実績】 ・物語付きクラシックコンサート アラジンと魔法のランプ 利用者3人 ・春日井まつり前夜祭「山崎まさよし」利用者7人 (前年度は1公演で託児を実施したが、利用者0人)	「アラジンと魔法のラン プ」では、0歳から入場 可能であったため、託児 サービス利用者が少な かった。	A 実施し、成果が 得られた。

### ウ 働いている人も参加しやすい時間での鑑賞事業等の開催

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
自主文化事業 (昼コン・夜コン) 【かすがい市民文化財団】	おしゃべりを交えた気軽に聴けるコンサートを金曜日の夜と土曜日の昼に開催	【平成30年度の実績】 昼コン 4~6、9~11月、土曜日14:00~ 6回 鑑賞者計1,620人 夜コン 4~6、9~11月、金曜日19:00~ 6回 鑑賞者計1,130人	金曜日の仕事帰りに、気軽に音楽を鑑賞できる機会を提供することができた。	A 実施し、成果が得られた。

### エ 文化活動を行う市民が発表する場の提供

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
市民美術展覧会 【文化・生涯学習課(かすがい市民文化財団に事業委託)】 《再掲》	市民が制作した美術作品(日本画・洋画・書・彫塑工芸・写真)の発表と鑑賞の場を提供	【平成30年度の実績】 第67回展 8月25日(土)~9月2日(日) 出品数 746点(前年度比47点減)、鑑賞者 11,384人 会場 市役所10~12階、文化フォーラム春日井 出品資格 市内在住または在勤・在学の高校生以上(出品無料)	審査員解説を行うことで、出品者の励みとなり、また鑑賞のサポートするなど、美術作品の発表・鑑賞の機会を提供することができた。	A 実施し、成果が得られた。
市民第九演奏会 【文化・生涯学習課(実行委員会に事業委託<事務局:中部大学>)】 《再掲》	合唱及び演奏を行う市民に練習の場と発表の場を提供し、市民手作りの演奏会を開催	【平成30年度の実績】 2018春日井市民第九演奏会 12月2日(日) 出演者 328人(指揮者・ソリスト5人、交響楽団80人、合唱団214人、賛助出演29人)(前年度比2人減)、入場者875人(前年度比85人増)	合唱参加者には6か月間、22回の練習機会を提供するなど、出演者と鑑賞者に芸術を楽しむ機会を提供することができた。	A 実施し、成果が得られた。

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
短詩型文学祭 【文化・生涯学習課(かすがい市民文化財団に事業委託)】 《再掲》	短歌、俳句、川柳、狂俳(一般の部のみ)、詩の作品を公募し、入選作品を掲載した作品集を作成。作品展では特別賞受賞作品等を展示	【平成30年度の実績】 第38回文学祭 作品展 1月26日(土)~2月11日(月・祝) 出品数 一般の部(高校生以上)733点、小・中学生の部22,713点、計 23,446点(前年度比514点増)、鑑賞者2,480人 会場 文化フォーラム春日井 出品資格 市内在住または在勤・在学(出品無料)	表彰式では、市長賞受賞者のスピーチもあり、鑑賞者の共感を呼ぶ機会となっている。幅広い鑑賞者があり、文芸作品の発表・鑑賞の機会を提供することができた。	A 実施し、成果が得られた。
小野道風公奉賛全国書道展覧会(道風展) 【文化・生涯学習課(運営委員会に事業委託<事務局:かすがい市民文化財団>)】《再掲》	書作品を全国から公募し、春日井市で生まれたと伝えられる小野道風の偉業を顕彰するとともに、展覧会を開催	【平成30年度の実績】 第70回展 10月28日(日)~11月4日(日) 出品数 一般部340点、学生部(高校生以下)5,981点、計6,321点(前年度比178点減)、鑑賞者 5,017人 会場 市役所10~12階、文化フォーラム春日井、道風記念館 出品資格 制限なし(出品料有料)	高いレベルの作品が数多く寄せられ、書道文化の振興を図ることができた。	A 実施し、成果が得られた。
アトリウム音楽祭 【かすがい市民文化財団】	市内外で活動しているアマチュア音楽団体が日頃の成果を発表する音楽発表会	【平成30年度の実績】 9月8日(土)・9日(日)15団体、295名出演、鑑賞者811人 3月2日(土)・3日(日)16団体、357名出演、鑑賞者1,129人	アマチュア音楽団体に発表の機会を提供することができた。	A 実施し、成果が得られた。
道風の書臨書作品展 【道風記念館】	三跡(小野道風、藤原佐理、藤原行成)の書を課題とし、臨書作品を全国から公募 開館以来継続して展覧会を開催	【平成30年度の実績】 第37回展 1月11日(金)~20日(日) 出品数 一般部 白氏詩巻 252点、秋萩帖 265点 高校生の部 智証大師諡号勅書 2,894点、継色紙 243点 合計3,654点(前年比197点減) 鑑賞者 356人 会場 道風記念館 出品資格 制限なし(出品料、表装料無料)	小野道風を始めとした三跡の和様の書を学び、鑑賞する機会を提供することで、小野道風の顕彰を行うことができた。	A 実施し、成果が得られた。



事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
公民館まつり・ふれあいセンター芸能発表会 【各公民館・各ふれあいセンター】	公民館・ふれあいセンターで活動する同好会の成果発表会を開催	【平成30年度の実績】 中央公民館 19団体出演・出展、延べ参加者1,572人 知多公民館 24団体出演・出展、延べ参加者1,220人 鷹来公民館 38団体出演・出展、延べ参加者2,112人 坂下公民館 33団体出演・出展、延べ参加者1,489人 東部公民館 24団体出演・出展、延べ参加者1,996人 南部ふれあいセンター 延べ参加者385人 西部ふれあいセンター 延べ参加者1,449人	地域で活動する様々な団体に成果発表の機会を提供するとともに、各団体の交流を図ることができた。	A 実施し、成果が得られた。
ハーモニーフェスティバル 【青年の家】	ハーモニー春日井で活動する同好会の成果発表会を開催	【平成30年度の実績】 17団体出演、延べ参加者506人	音楽団体に成果発表の機会を提供するとともに、各団体の交流を図ることができた。	A 実施し、成果が得られた。
レディヤン祭 【男女共同参画課】	登録団体の交流を図り活動発表を実施することで、活動の周知や男女共同参画社会に向けた意識づくりの機会とする	【平成30年度の実績】 第27回 12月8日(土) 来場者 2,700人 ・活動団体によるステージ発表 9団体 ・活動団体による体験教室 15団体 ・スタンプラリー、招へい事業(マリンバ演奏) ほか	参加団体の協力により、日ごろの活動成果の発表を行うことができた。また、多くの来場者があり活動団体の周知を図ることができた。	A 実施し、成果が得られた。

(4) 高齢者、障がい者等の鑑賞機会の充実

ア 高齢者、障がい者等にも配慮した鑑賞機会の提供

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
自主文化事業 (鑑賞系事業) 【かすがい市民文化財団】  《再掲》	幅広く、質の高い魅力的な事業を実施し、年齢や性別、社会的状況等に関わらず誰もが芸術を鑑賞できる機会を提供	<b>【平成30年度の実績】</b> 舞台系:松竹大歌舞伎 入場者1,878人、南野陽子&葛西聖司 伝統芸能の魅力発見! 入場者479人、フォレストコンサート 入場者963人、山下洋輔スペシャル・ビッグバンド・コンサート 入場者792人、柳家小三治独演会 入場者977人、花形狂言2018 真夏の狂言大作戦! 入場者421人、こまつ座「母と暮せば」 入場者462人 日曜シネマ(全6回)にてボランティア団体の協力を得て聴覚障がい者のためのシーンボイスガイドを実施	各舞台公演で車いす席を設定、映画上映会でシーンボイスガイドを実施するなど高齢者や障がい者等にも配慮した鑑賞機会を提供することができた。	<div style="text-align: center;">A</div> 実施し、成果が得られた。
福祉の里レインボープラザでの事業 【社会福祉協議会】	「ハッピーコンサート」等の開催により鑑賞の機会を提供し、「だれでもアーティスト」等の開催により発表と鑑賞の機会を提供	<b>【平成30年度の実績】</b> <b>【鑑賞事業】</b> ハッピーコンサート<6回> 鑑賞者1,013名、レインボーシネマ<15回> 鑑賞者50名、クリスマスコンサート 鑑賞者145名 <b>【参加・鑑賞事業】</b> だれでもアーティスト 参加・鑑賞者150名、歌声アトリウム 参加・鑑賞者116名、新春かくし芸大会 参加・鑑賞者93名、演芸フェスタ 参加・鑑賞者98名	多種多様な催しを開催することで、高齢者や障がい者に幅広い鑑賞機会を提供することができた。	<div style="text-align: center;">A</div> 実施し、成果が得られた。

## イ 福祉施設、病院等での文化事業の開催

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
まちかどコンサート 【文化・生涯学習課】 〈単年度事業〉 《再掲》	コンサートグループ 「花の詩」と協働し、 市内各所でコンサートを 開催	【平成30年度の実績】 市民病院、デイサービスセンター等でコンサートを12回開 催 鑑賞者 計2,153人、出演者 延べ80人	病院、福祉施設等で市 民にクラシックの生演奏 を楽しめる機会を提供 することができた。	A 実施し、成果が 得られた。
あ〜とふるマイタウン (芸術家等派遣事業) 【文化・生涯学習課】 《再掲》	音楽、書、伝統芸能に 関する芸術家を公民 館や学校等の身近な 施設に派遣	【平成30年度の実績】 実施プログラム 9、実施回数 21回(前年度比2回減) 〈内訳〉 音楽(クラシック・和楽器)4プログラム、12回 書(篆刻を含む)3プログラム、3回 伝統芸能(落語・日本舞踊)2プログラム、6回	保育園や小学校、地区 社会福祉協議会などか ら予定回数を上回る応 募があり、市民に鑑賞・ 体験の機会を提供す ることができた。	A 実施し、成果が 得られた。

### 評価指標に基づく実績

成果指標	現状値	目標値		実績値
	2016年度	2021年度	2026年度	2018年度
文化芸術の活動している人の割合	14.5%	20.0%	25.0%	2021年度に測定

## 施策ごとの評価

事業の評価		特記事項
A	概ね計画どおりの成果が得られた	幅広く、質の高い魅力的な事業が実施されており、年齢や性別に関わらず多くの市民が、拠点となる文化施設又は身近な施設で芸術を鑑賞できる機会が提供されている。また、小中高校生など若い世代に対し鑑賞を促すような取り組みが実施され、高齢者に対しても多くの鑑賞機会が提供されており、いずれも評価できる。
B	成果が得られた事業が多かった	一方、障がい者など社会的・経済的に厳しい状況にある人などに対するサポートについては、十分とは言えない状況であるので、この点の充実が望まれる。
C	成果が得られた事業は少なかった	また、高齢化の進行により、音楽を演奏したり、書画を描くなどの文化活動に取り組んでいる市民の数が減少してきている。若い世代や働く世代でも文化活動に取り組むことができるよう、活動のきっかけ作りが望まれる。
D	成果は得られなかった	

## 施策② 次世代の文化活動を担う人材の育成

### 施策ごとの事業の成果

#### (1) 若手芸術家等の活動の支援

##### ア 若手美術家等の作品を取り上げる展覧会の開催

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
自主文化事業 (鑑賞系事業) 【かすがい市民文化財団】 《再掲》	幅広く、質の高い魅力的な事業を実施し、年齢や性別、社会的状況等に関わらず誰もが芸術を鑑賞できる機会を提供	【平成30年度の実績】 歌人・鈴掛真 短歌展 入場者835人 春日井市出身の若手歌人・鈴掛真が映像やインスタレーションの手法を用いて、自身作の短歌を展示	若手作家とともに、新たな手法を用いた展覧会を開催することで、鑑賞機会とともに、作家に新たな表現方法による発表の機会を提供することができた。	A 実施し、成果が得られた。

##### イ 若手音楽家等の自主的活動の支援

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
自主文化事業 (若手音楽家支援事業) 【かすがい市民文化財団】	若手音楽家を3年間にわたり活動支援するプログラム。1年目にあたり、ワンコインコンサートを開催	【平成30年度の実績】 ワンコインコンサート(入場料500円のコンサート) ・Trio Primavera 6月1日(金) 入場者126人 ・Lune 9月22日(土) 入場者106人 ・Shiki's Friends 1月26日(土) 入場者185人<満席>	地域に根差した音楽家を育成する第1歩として、若手音楽家に発表の機会を提供することができた。	A 実施し、成果が得られた。

## ウ 幅広い分野での文化活動を行う市民等への支援

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化活動事業助成 【文化・生涯学習課】	芸術文化振興を図るため、文化活動団体が行う事業に対して補助金を交付	【平成30年度の実績】 ・春日井市文化振興補助金交付要綱による補助 文化協会、美術協会、市民音楽連盟、交響楽団、児童合唱団 ・文化スポーツイベント補助金交付要綱による補助 国内での文化事業への参加 1団体、個人2人	文化活動団体及び全国大会に出場する個人への補助金交付により、市民の文化活動の支援を行うことができた。	A 実施し、成果が得られた。

## (2) 芸術家等と市民との交流の促進

### ア 若手芸術家によるワークショップ等の開催

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
自主文化事業 (鑑賞系事業) 【かすがい市民文化財団】 《再掲》	幅広く、質の高い魅力的な事業を実施し、年齢や性別、社会的状況等に関わらず誰もが芸術を鑑賞できる機会を提供	【平成30年度の実績】 歌人・鈴掛真 短歌展 入場者 835人 春日井市出身の若手歌人・鈴掛真が映像やインスタレーションの手法を用いて、自身作の短歌を展示 関連事業「初めての短歌ワークショップ」 参加者19人	展覧会に合わせて参加者公募型で実施したワークショップで、若手作家が丁寧な添削を行い、参加者に満足度の高い創作機会を提供することができた。	A 実施し、成果が得られた。
かすがい文化フェスティバル 【かすがい市民文化財団】 《再掲》	茶華道などの伝統文化や工作、書道などを体験できるワークショップを開催	【平成30年度の実績】 若手芸術家によるワークショップ 8月2日(木)「親子で作ろう!はさみ切り絵」 19人 8月30日(木)「みんなで巨大すごろくを作ろう!」 20人	若手芸術家により、親子で楽しめる体験機会を提供することができた。	A 実施し、成果が得られた。

## イ 小中学校への芸術家等の派遣

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
あ〜とふるマイタウン(芸術家等派遣事業) 【文化・生涯学習課】 《再掲》	音楽、書、伝統芸能に関する芸術家を公民館や学校等の身近な施設に派遣	【平成30年度の実績】 実施プログラム 9、実施回数 21回(前年度比2回減) <内訳> 音楽(クラシック・和楽器)4プログラム、12回 書(篆刻を含む)3プログラム、3回 伝統芸能(落語・日本舞踊)2プログラム、6回	保育園や小学校、地区社会福祉協議会などから予定回数を上回る応募があり、市民に鑑賞・体験の機会を提供することができた。	A 実施し、成果が得られた。
かすがいどこでもアート・ドア 【かすがい市民文化財団】 《再掲》	学校や保育園、福祉施設などにアーティストを派遣し、特別授業やコンサートを実施	【平成30年度の実績】 派遣アーティスト 5名、実施回数 12回(前年度比2回減) <内訳> 俳優・演出家 3回、文芸(歌人) 3回 美術家 4回、舞踊(ダンサー) 1回、音楽(ギター) 1回	文化財団のミッションに基づく普及啓発事業の柱として実施。芸術を身近で感じられる機会を提供することができた。	A 実施し、成果が得られた。

## (3) 文化活動団体等の活動の促進

### ア 文化活動団体等の活発な活動の促進

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化活動事業助成 【文化・生涯学習課】	芸術文化振興を図るため、文化活動団体が行う事業に対して補助金を交付	【平成30年度の実績】 ・春日井市文化振興補助金交付要綱による補助文化協会、美術協会、市民音楽連盟、交響楽団、児童合唱団 ・文化スポーツイベント補助金交付要綱による補助国内での文化事業への参加 1団体、個人2人	文化活動団体及び全国大会に出場する個人への補助金交付により、市民の文化活動の支援を行うことができた。	A 実施し、成果が得られた。

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
共催事業 【かすがい市民文化財団】	文化活動団体の活動を支援するため、様々な団体との共催事業を実施	【平成30年度の実績】 かすがい人形劇フェスティバル 主催：愛知県人形劇協会、かすがい人形劇フェスティバル実行委員会 第26回春日井市高等学校吹奏楽フェスティバル 主催：春日井市高等学校吹奏楽協議会 とっておきのクリスマスコンサート 主催：春日井児童合唱団	文化財団の持つ専門技術や経験を活かし、各団体が実施する事業を共催という形で支え、文化活動団体の活動を支援することができた。	A 実施し、成果が得られた。
舞台制作セミナー 【かすがい市民文化財団】	文化財団の持つ専門技術や経験を基に、照明・音響・舞台技術の基礎知識を伝えるセミナーを実施	【平成30年度の実績】 舞台制作セミナー-高校吹奏楽版 受講者 28人(春日井高校、春日井西高校、春日井東高校、春日井南高校、春日井商業高校、高蔵寺高校) 舞台制作セミナー-高校演劇版 受講者 18人(春日井高校)	実際の舞台道具を用いて舞台に関する専門技術を高校生に伝えることで、高校生の文化活動を支援することができた。	A 実施し、成果が得られた。

### イ 文化活動団体等による体験講座の支援

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化活動事業助成 【文化・生涯学習課】 《再掲》	芸術文化振興を図るため、文化活動団体が行う事業に対して補助金を交付	【平成30年度の実績】 ・春日井市文化振興補助金交付要綱による補助 文化協会 入門講座 10講座 市民音楽連盟 ワークショップ1講座、初心者講習会1講座	初心者向けの講座を実施する文化活動団体への補助金交付により、市民の文化活動の支援を行うことができた。	A 実施し、成果が得られた。



評価指標に基づく実績

成果指標	現状値	目標値		実績値
	2016年度	2021年度	2026年度	2018年度
若手音楽家等の学校派遣による特別授業の受講児童・生徒数	653人	700人	800人	569人

< 参考 >	基準値	実績値
	2016年度	2018年度
高校生以下を対象とするアウトリーチ事業の実施回数	23回	18回

## 施策ごとの評価

事業の評価	特記事項
<p>A 概ね計画どおりの成果が得られた</p> <p>B 成果が得られた事業が多かった</p> <p>C 成果が得られた事業は少なかった</p> <p>D 成果は得られなかった</p>	<p>文化財団による若手音楽家支援事業が始動するとともに、春日井市出身の若手歌人・鈴掛真の展覧会が開催されるなど、若手芸術家の活動支援が積極的に行われており評価できる。</p> <p>成果指標としている「若手音楽家等の学校派遣による特別授業の受講児童・生徒数」は若干減少しているが、大人数を対象としたコンサートの取組みから、クラス単位・部活単位を対象としたよりきめ細やかなメニューを増やしたためであり、実際に芸術文化に触れる子どもたちにとって、より良い体験機会を提供できるよう改善を進めている状況が認められ、評価できる。</p> <p>また、文化活動団体等に対する支援について、継続的な支援ができていた点は評価できる。</p> <p>今後は、高齢化の進行によって文化活動団体の活動が厳しくなると想定されるので、その支援が望まれる。</p>

## 施策③ 知りたい人に届く文化情報発信

### 施策ごとの事業の成果

#### (1) 幅広く効果的な文化情報発信

##### ア インターネットで地域の文化情報の発信

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
春日井市ホームページ 【広報広聴課】	市民に必要な情報を迅速に提供するため、市ホームページという媒体を活用して情報を発信	【平成30年度の実績】 ・毎月15日号広報春日井に掲載した「まちのイベントニュース」を春日井市ホームページでも掲載 ・市ホームページのセキュリティ強化を図るため、HTTPS化(通信暗号化)を実施	市民グループの発表会などの情報を幅広く発信することができた。	A 実施し、成果が得られた。
文化財団ホームページ 【かすがい市民文化財団】	文化財団の実施している事業の情報や、管理運営している文化フォーラム春日井及び春日井市民会館の情報を発信	【平成30年度の実績】 ・自主文化事業情報を文化財団ホームページに掲載。 ・施設のイベントカレンダーを作成し、市民グループの発表会や作品展などの情報を文化財団ホームページで掲載。 ・文化財団ホームページのセキュリティ強化を図るため、HTTPS化(通信暗号化)を実施	文化財団の事業だけではなく、市民グループの発表会などの情報を幅広く発信することができた。	A 実施し、成果が得られた。
外部団体が運営するインターネットサイトへの情報提供 【道風記念館】	道風記念館の施設情報や展覧会情報等を、外部サイトを通して発信	【平成30年度の実績】 愛知県生涯学習情報提供システム「学びネットあいち」 日本観光振興協会「観るなび」 Internet Museum DNP Museum information Japan「art scape」 子供とお出かけ情報サイト「いこーよ」	外部の情報サイトを活用することで、幅広い層に情報発信を行うことができた。	A 実施し、成果が得られた。

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
生涯学習情報サイト 「まなびや選科」 【文化・生涯学習課】	市内で活動する団体や、市内で活躍する講師の情報及び公民館等で開催されるイベントや講座情報を発信	【平成30年度の実績】 講師登録者 271名、団体登録数 153団体 サイトアクセス数 41,593件	公民館やふれあいセンター等で活動する生涯学習活動団体及び、講師として活動する市民の情報発信を行うことができた。	A 実施し、成果が得られた。

#### イ 市民の意見や入場者数等の分析に基づく情報発信の改善

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
自主文化事業 (鑑賞系事業) 【かすがい市民文化財団】 《再掲》	幅広く、質の高い魅力的な事業を実施し、年齢や性別、社会的状況等に関わらず誰もが芸術を鑑賞できる機会を提供	【平成30年度の実績】 各事業でアンケートを実施し、そこに記載された興味・関心のあるジャンルを基に公演案内を送付。 チケット管理システムに蓄積された過去のチケット購買履歴を基に公演案内を送付。	情報を求めている顧客に効率的に情報を届けることができた。	A 実施し、成果が得られた。

### ウ 文化財団情報誌「FORUM PRESS」等での文化芸術の魅力の発信

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化財団情報誌「FORUM PRESS」 【かすがい市民文化財団】	自主文化事業を中心とした芸術文化情報及び施設に関する情報を掲載した情報誌を発行	【平成30年度の実績】 A4サイズ16ページ フルカラー 隔月(年6回) 10,000部 ・自主文化事業に関する情報 ・FORUM PRESSレポーター(ボランティア)による公演感想記「私のレポート」 ・春日井に関わる人にインタビューした「あの人と、春日井と」 ・「校歌は地域をうたう」「PiPi提携ショップガイド」などの地域にまつわるコンテンツ	これから開催される自主事業に関する情報だけではなく、記事を読んで興味がわくような情報発信を行うことができた。	A 実施し、成果が得られた。

### エ 文化財団友の会会員等への情報発信

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
友の会事業 【かすがい市民文化財団】	自主事業のチケット先行発売・割引購入が可能な有料会員制度	【平成30年度の実績】 友の会会員(有料) 1,172人 Web会員(無料) 4,293人 隔月で文化財団情報誌「FORUM PRESS」や自主文化事業等のチラシ類を送付	文化芸術に関心の高い会員に最新の情報を提供することができた。	A 実施し、成果が得られた。

## オ JR各駅や地元商店街等でのポスター掲示、チラシ配布等

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
JR各駅での広報配布 【広報広聴課】	JRの各駅で広報春日井を配布するとともに、JR高蔵寺駅内のアスティ高蔵寺市民コーナーでポスター配布、チラシ配架	【平成30年度の実績】 広報春日井各号の配布部数 JR勝川駅(ベルマート勝川) 25部 JR春日井駅 40部 JR神領駅 120部 JR高蔵寺駅(アスティ高蔵寺市民コーナー) 160部	町内会未加入世帯等で広報春日井の入手が難しい市民に対し、広報を入手する機会を提供することができた。	A 実施し、成果が得られた。
JR春日井駅自由通路展示コーナー 【かすがい市民文化財団】	自由通路にある展示コーナーで、特製の巨大ポスターを掲示し、文化財団の自主事業等をPR	【平成30年度の実績】 イベントカレンダー 2か月ごとに更新 各事業をPRする巨大ポスター 計20枚作成・掲示	市の玄関口であるJR春日井駅にて文化情報を発信することができた。	A 実施し、成果が得られた。

## (2) 新しい情報媒体の開拓・活用

### ア インターネットを活用した双方向コミュニケーションの促進

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
市政情報サービス 【広報広聴課】	市民に必要な情報を迅速に提供するため、市ホームページ・モバイルサイト、SNSを活用して情報を提供	【平成30年度の実績】 ・市公式LINEで自動応答サービス「教えて!道風くん」開始 ・市公式LINEお友達登録件数 3,995件 ・市公式Twitterフォロワー数 1,696	インターネットを活用し、様々な手法で情報発信することができた。 双方向コミュニケーションではないが、自動応答サービスにより、質問に対応することができた。	A 実施し、成果が得られた。

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化財団情報発信事業 【かすがい市民文化財団】	文化財団の実施事業や、文化フォーラム春日井・市民会館の情報を提供	【平成30年度の実績】 ・文化財団公式Twitterで、最新の情報を発信 ・文化財団公式Twitterフォロワー数 956 ・公演に出演のアーティスト等との相互交流を実施	インターネットを活用し、様々な手法で情報発信することができた。	A 実施し、成果が得られた。

### イ 民間情報誌等を活用した文化イベント情報の発信

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化財団広告宣伝事業 【かすがい市民文化財団】	文化財団の活動に“認知・理解・支援”を得るため、新聞・テレビ等への露出を図り、文化財団のPRを実施	【平成30年度の実績】 記事掲載：中日新聞40回、朝日新聞8回、毎日新聞1回、読売新聞1回、テレビ1回、ラジオ2回、ケーブルテレビ11回、雑誌タウン誌25回 広告掲載：中日新聞3回、雑誌1回 新聞折込：朝日新聞(市外近郊)1回	文化財団の事業について、新聞やラジオで告知を行い、集客につなげることができた。	A 実施し、成果が得られた。
道風記念館展示 【道風記念館】 《再掲》	道風記念館の施設及び事業をPRするため、情報を発信	【平成30年度の実績】 記事掲載：中日新聞9回、朝日新聞9回、読売新聞3回、茶華道新聞6回、ケーブルテレビ1回、雑誌13回 広告掲載：雑誌3回、読売新聞1回	道風記念館について、新聞や雑誌等で告知を行い、道風記念館を幅広くPRすることができた。	A 実施し、成果が得られた。

### ウ 近隣自治体、民間文化施設等との連携による情報発信の推進

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化財団情報発信事業 【かすがい市民文化財団】	文化財団の実施事業や、文化フォーラム春日井・市民会館の情報を提供	【平成30年度の実績】 文化財団情報誌「FORUM PRESS」を始めとする広報物を県内160施設、県外90施設に配布 美術系事業の広報物は、公共施設だけでなく民間のギャラリーにも配布(相互に依頼) 名古屋市文化振興事業団と連携し、相互に友の会会員への発送物に、双方の事業のチラシを同封 近隣ホールで開催の類似ジャンルの公演にて、自主文化事業の広報物を折り込み(相互に依頼)	近隣の文化施設と連携することで、幅広い情報を、来館者・友の会会員・公演の鑑賞者に提供することができた。	A 実施し、成果が得られた。
道風記念館展示 【道風記念館】 《再掲》	道風記念館の施設及び事業について、PRを実施	【平成30年度の実績】 展覧会チラシ・ポスターを始めとする広報物を 県内141施設、県外403施設に配布 かすがい市民文化財団が市民会館等で開催する公演の際に、展示作品を紹介する広報物を折り込み	近隣の文化施設と連携することで、幅広い情報を、来館者・友の会会員・公演の鑑賞者に提供することができた。	A 実施し、成果が得られた。

### 評価指標に基づく実績

成果指標	現状値	目標値		実績値
	2016年度	2021年度	2026年度	2018年度
市が情報発信の充実に力を入れていくべきと考える人の割合	43.0%	35.0%	25.0%	2021年度に測定



## 施策ごとの評価

事業の評価	特記事項
<p>A 概ね計画どおりの成果が得られた</p> <p>B 成果が得られた事業が多かった</p> <p>C 成果が得られた事業は少なかった</p> <p>D 成果は得られなかった</p>	<p>文化財団情報誌のFORUM PRESSは、事業の宣伝に留まるのではなく、読み手に興味を抱かせるような読み物として楽しめるものとなっており、評価できる。</p> <p>インターネットやSNSを活用したPRについては、社会情勢の変化に応じたものとなるよう、また、知りたい人に届けるためにはどのような手法が有効なのかを検討していく必要がある。</p> <p>その他、市や文化財団以外の文化活動団体等が実施する事業について、現状として十分な情報発信が行われていないため、地域の文化情報を集約し発信する手法を検討する必要がある。</p>

## 施策④ 市民による文化活動支援の推進

### 施策ごとの事業の成果

#### (1) ボランティア活動の活性化

##### ア 継続的な文化ボランティア活動の推進、支援

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化ボランティア(市民メセナ活動支援) 【文化・生涯学習課】	市民メセナ活動の一環として文化ボランティアを募集し、活動を支援	【平成30年度の実績】 文化ボランティア 登録者 19名(前年比1名減) ボランティアへの活動要請 10回、延べ50人従事 顔合わせ会(総会)1回、定例会11回、教養講座1回 文化ボランティア新規会員募集をPR、2名が加入(退会者3名)	顔合わせ会(総会)や定例会を開催し、ボランティアの相互交流を図ることができた。また、新規会員募集を行い、新たな会員を迎えることができた。	A 実施し、成果が得られた。
文化財団サポーター 【かすがい市民文化財団】	来場者をもてなすボランティアとして、文化財団自主事業に参加(フロントスタッフ) 公演を鑑賞し、観客目線での公演レポートを執筆し、公開(FORUM PRESSレポート)	【平成30年度の実績】 フロントスタッフ 登録者 40人 (前年比3名増、新規登録者5名、退会者2名) 活動公演数 28回、活動展覧会数 2回 研修等 3回 FORUM PRESSレポート 登録者 17人 (前年比増減なし、新規登録者3名、退会者3名) 活動公演数 18回、研修等 6回 紙面掲載記事 12本、ホームページ掲載記事 57本	活動は15年目を迎えた。年間を通して活動しており、継続的な活動ができた。 観客目線での感想を寄せることで、より客観的な文化財団の事業展開に寄与することができた。	A 実施し、成果が得られた。

### イ 市民が企画、運営する文化事業の支援

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化ボランティア(市民メセナ活動支援) 【文化・生涯学習課】 《再掲》	市民メセナ活動の一環として文化ボランティアを募集し、活動を支援	【平成30年度の実績】 文化ボランティア 登録者 19名(前年比1名減) ボランティアへの活動要請 10回、延べ50人 顔合わせ会(総会)1回、定例会11回、教養講座1回 文化ボランティア新規会員募集をPR、2名が加入 (退会者3名)	例年活動要請のある団体など、市民の文化活動を支援するボランティア活動を行うことができた。	A 実施し、成果が得られた。

### ウ 文化ボランティアによる自主企画イベントの開催

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化ボランティア(市民メセナ活動支援) 【文化・生涯学習課】 《再掲》	市民メセナ活動の一環として文化ボランティアを募集し、活動を支援	【平成30年度の実績】 文化ボランティア 登録者 19名(前年比1名減) ボランティアへの活動要請 10回、延べ50人 顔合わせ会(総会)1回、定例会11回、教養講座1回 文化ボランティア新規会員募集をPR、2名が加入 (退会者3名)	文化ボランティアが企画した教養講座を開催し、会員以外の参加者を迎えて活動をPRすることができた。	A 実施し、成果が得られた。

## (2) 市民メセナ基金の活用

### ア 市民メセナ基金を活用する事業を通じた情報発信、認知度向上

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
あ〜とふるマイタウン(芸術家等派遣事業) 【文化・生涯学習課】 《再掲》	音楽、書、伝統芸能に関する芸術家を公民館や学校等の身近な施設に派遣	【平成30年度の実績】 実施プログラム 9、実施回数 21回(前年度比2回減) <内訳> 音楽(クラシック・和楽器)4プログラム、12回 書(篆刻を含む)3プログラム、3回 伝統芸能(落語・日本舞踊)2プログラム、6回	事業実施時に、参加者に市民メセナ基金活用事業について説明し、認知度の向上を図ることができた。	A 実施し、成果が得られた。

### イ 市民メセナ基金の運用方法の検討

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
市民メセナ基金積立 【文化・生涯学習課】	市民や企業等からの寄附金の受け皿となるとともに、マッチングギフト方式を採り入れ、市が寄附と同額を積み立て	【平成30年度の実績】 ・あ〜とふるマイタウン、文化ボランティア活動にも拠出。 寄附 14,430円、マッチングギフト(市負担)14,430円 基金利子 668円 前年度末基金現在高 8,171,473円 今年度積立額 29,548円 今年度取崩額 551,718円 (前年度積立額は2,100,721円、2,071,173円減)	団体からの寄附に対し、マッチングギフトを加えることで、メセナ基金への積み立て効果を高めることができた。	A 実施し、成果が得られた。

評価指標に基づく実績

成果指標	現状値	目標値		実績値
	2016年度	2021年度	2026年度	2018年度
文化ボランティアの登録者数	23人	25人	28人	19人

< 参考 >	基準値	実績値
	2016年度	2018年度
文化財団サポーター（フロントスタッフ及びFORUM PRESSレポーター）の登録者数	53人	57人

## 施策ごとの評価

事業の評価	特記事項
<p>A 概ね計画どおりの成果が得られた</p> <p>B 成果が得られた事業が多かった</p> <p>C 成果が得られた事業は少なかった</p> <p>D 成果は得られなかった</p>	<p>文化ボランティアの活動が継続的に行われており、高齢化によってボランティアを辞める会員がある一方、新規登録者がある点は評価できる。</p> <p>また、文化財団サポーターについても、継続的な活動が行われている点は評価できる。</p> <p>引き続き、文化ボランティア及び文化財団サポーターの活動が継続的に行われ、市民の文化活動を支える取り組みが広がることが望まれる。</p> <p>市民メセナ基金については、永続的な運用ができるよう、活用方法を検討するとともに、寄附を募る方策、PR方法を検討する必要がある。</p>

施策⑤ 文化が育つ拠点施設の充実

施策ごとの事業の成果

(1) 文化活動の魅力を引き出す施設運営

ア より幅広い利用形態に対応する文化施設運営

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化フォーラム春日井、 市民会館貸館 【かすがい市民文化財 団】	文化フォーラム春日 井諸室及び市民会 館施設の貸出	<p>【平成30年度の実績】</p> <p>文化フォーラム春日井：1,558件 105,932人                      &lt;前年度比29件減、8,759人減&gt;</p> <p>(内訳：ギャラリー40件38,003人、視聴覚ホール271件                      29,338人、会議室363件9,921人、文化活動室288件                      6,477人、和室141件1,164人、交流アトリウム455件                      21,029人)</p> <p>市民会館：133件 86,659人                      &lt;前年度比35件減、19,002人減&gt;</p> <p>※音響照明等改修のため、12～3月休館</p>	<p>両施設とも、利用者アン                      ケートでの利用満足度                      は高く、市民にとって使                      いやすい施設を提供す                      ることができた。</p> <p>ただし、利用目的を文化                      芸術に限定して運用し                      ている文化フォーラム春                      日井では利用者数が減                      少傾向にある。</p>	<p style="text-align: center;">A</p> <p>実施し、成果が                      得られた。</p>





### イ 安全、快適に利用できる文化施設の整備、管理

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化フォーラム春日井、 市民会館管理 【文化・生涯学習課】	文化フォーラム春日井及び市民会館の改修・修繕等を実施	【平成30年度の実績】 文化フォーラム春日井:交流アトリウムの強化ガラスに使用されている飛散防止フィルム貼替 市民会館:舞台照明・音響設備、空調設備、給水管等の更新 ※平成30年12月～平成31年3月工事のため休館	経年劣化に対応するため、修繕・改修工事を実施し、施設利用者の安全性・快適性を高めることができた。	A 実施し、成果が得られた。

### ウ 文化財関連施設等の保守、管理

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化財の保護・調査 【文化財課】	指定文化財所有者等と連携し、文化財の適切な管理・保管状況を維持 史跡等については、地元保存団体に清掃等管理運営を委託	【平成30年度の実績】 ・県指定(民俗)「小木田の棒の手」、市指定(民俗)「伊多波刀神社奉納流鏑馬」用具購入補助 ・市指定(建造物)「密蔵院建造物」火災報知器設置等補助 など計13件 ・史跡等清掃業務委託 9団体	指定文化財所有者や地元保存団体と連携し、文化財の適切な管理・保管状況を維持することができた。	A 実施し、成果が得られた。

### 評価指標に基づく実績

成果指標	現状値	目標値		実績値
	2016年度	2021年度	2026年度	2018年度
市の文化施設が充実していると考える人の割合	28.8%	30.0%	35.0%	2021年度に測定

### 施策ごとの評価

事業の評価	特記事項
A 概ね計画どおりの成果が得られた	<p>文化フォーラム春日井、市民会館とも、利用者アンケートからみると利用満足度は高く、評価できる。ただし、文化フォーラム春日井では利用者数が減少傾向にあるため、利用目的を文化芸術に限定している現状を改めるなど対応策の検討が必要である。</p> <p>文化財は、概ね適切な管理・保管状況が保たれており、評価できる。引き続き適切な管理・保管が必要である。</p>
B 成果が得られた事業が多かった	
C 成果が得られた事業は少なかった	
D 成果は得られなかった	

## 基本目標2 特色ある「春日井文化」の継承・創造

### 施策⑥ 特色ある文化の推進

#### 施策ごとの事業の成果

#### (1) 「書のまち春日井」の推進

##### ア 書の魅力を紹介する文化事業の充実

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
小野道風公奉賛全国書道展覧会(道風展) 【文化・生涯学習課(運営委員会に事業委託<事務局:かすがい市民文化財団>) 《再掲》	書作品を全国から公募し、春日井市で生まれたと伝えられる小野道風の偉業を顕彰するとともに、展覧会を開催	【平成30年度の実績】 第70回展 10月28日(日)~11月4日(日) 出品数 一般部340点、学生部(高校生以下)5,981点、計6,321点(前年度比178点減)、鑑賞者 5,017人 会場 市役所10~12階、文化フォーラム春日井、道風記念館 出品資格 制限なし(出品料有料)	公募の案内を全国の高校・大学、書関連の美術館で配布するなど「書のまち春日井」を全国発信するとともに、高いレベルの作品が数多く寄せられ、書道文化の振興を図ることができた。	A 実施し、成果が得られた。

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
道風記念館展示 <b>【道風記念館】</b> 《再掲》	小野道風の偉業を 顕彰し後世に伝える とともに、書専門の美 術館として、様々な展 覧会を開催	<b>【平成30年度の実績】</b> 道風記念館 観覧者8,652人 特別展「琉球の書」鑑賞者489人 企画展「没後30年坪井正庵かな作品展」鑑賞者1,383人 企画展「おののとうふう～中国の書と和様の書～」鑑賞者 1,474人 館蔵品展「書体の変遷Ⅱ」鑑賞者1,335人、「書の魅力」鑑 賞者3,068人、「近現代の書(明治・大正編)」鑑賞者647 人 年間観覧者数8,652人(前年比988人減)	毎回異なったテーマを 設け、すべての展示を自 主企画し、専門家から高 評価を得る質の高い展 覧会を継続開催するこ とができた。	<div style="text-align: center;">A</div> 実施し、成果が 得られた。
道風の書臨書作品展 <b>【道風記念館】</b> 《再掲》	三跡(小野道風、藤 原佐理、藤原行成) の書を課題とし、臨 書作品を全国から公 募 開館以来継続開催し ている展覧会	<b>【平成30年度の実績】</b> 第37回展 1月11日(金)～20日(日) 出品数 一般部 白氏詩巻 252点、秋萩帖 265点 高校生の部 智証大師諡号勅書 2,894点、継色紙 243点 合計3,654点(前年比197点減) 鑑賞者 356人 会場 道風記念館 出品資格 制限なし(出品料、表装料無料)	小野道風を始めとした 三跡の和様の書を学 び、鑑賞する機会を提供 することで、小野道風の 顕彰を行うことができ た。	<div style="text-align: center;">A</div> 実施し、成果が 得られた。

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
県下児童生徒席上揮毫大会 【小野道風公遺徳顕彰会（事務局：小野小学校）】	昭和11年（1936）に始まった揮毫大会 用紙が2枚だけ配布され、制限時間25分間で行われる 「用意、ドン」と始まるため「小野の競書会」とも呼ばれている	【平成30年度の実績】 第83回大会 10月27日（土） 参加者 783人（90校） 会場 小野小学校 参加資格 愛知県内の小中学校推薦児童・生徒（各学年2人） （参加料無料） 表彰式・作品展 12月1日（土）、小野小学校体育館 運営には、小野小学校区協力委員、小野小学校PTA、中部中学校おやじの会、春日井市文化ボランティアの会が協力	春日井市内だけではなく、愛知県内から多くの学校から参加者があり、小中学生に作品を制作する機会を提供するとともに、小野道風の顕彰を行うことができた。	A 実施し、成果が得られた。

## イ 書を通じた自治体間交流の推進

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
道風記念館展示 【道風記念館】 《再掲》	小野道風の偉業を顕彰し後世に伝えるとともに、書専門の美術館として、様々な展覧会を開催	【平成30年度の実績】 特別展「琉球の書」では、沖縄県立美術館等より貴重な作品を借用。関連企画では、沖縄の古典音楽・舞踊の鑑賞会を開催。 次年度開催の特別展に向けて、高知県安芸市在住の所蔵者等に協力を仰ぎ、展覧会の企画を立案した。	近隣だけではなく遠方の自治体と協力することで、質の高い展覧会を開催することができた。	A 実施し、成果が得られた。

### ウ 春日井まつり等の市民交流事業での書の魅力の発信

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
春日井まつり 【市民活動推進課】	市庁舎周辺で、小野道風に因んだ書道パフォーマンスなど春日井の特色ある催しを実施	【平成30年度の実績】 参加者 11,800人(690団体)、観覧者 251,000人 ・「Kasugai ザ 道風」(書道パフォーマンス) ・「道風平安朝行列」(小野道風を中心とした雅な雰囲気の流れ)などが参加するパレード ・道風くんコーナー(水書道体験コーナー、道風くんグッズ販売)	外部団体と協働し、参加者・観覧者双方に春日井らしさを感じられる貴重な機会を提供することができた。	A 実施し、成果が得られた。

### エ パンフレット等による「書のまち春日井」の発信

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
「書のまち春日井」発信 【文化・生涯学習課】	「書のまち春日井」PRパンフレット(一般用)を作成・配布	【平成30年度の実績】 「書のまち春日井」PRパンフレット(一般用)作成 A4サイズ16ページ 初版10,000部、5,000部増刷 内容:「書のまち春日井」 道風記念館等市内施設、県内外の書関係美術館等、道風展表彰式等書関連行事で配布	「書のまち春日井」について分かりやすくまとめたパンフレットを作成・配布することで市内外に「書のまち春日井」を広くPRすることができた。	A 実施し、成果が得られた。

オ マスコットキャラクターの活用

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
<p>「書のまち春日井」発信 【文化・生涯学習課】</p>	<p>商標、着ぐるみの貸し出し、グッズの制作・販売等を実施 「ゆるキャラグランプリ」にエントリーし、市内外にPR</p>	<p>【平成30年度の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商標の貸出(印刷物等への道風くんイラスト使用許可) 23件</li> <li>・着ぐるみ貸出(町内会等や一般企業へ無料貸出) 105件</li> <li>・道風くんグッズ販売 道風記念館や市役所等公共施設、春日井市観光コンベンション協会(JR春日井駅Lirick)、市内書店</li> <li>・春日井まつりや市民納涼まつりで市内保育園園児と道風くんが「道風くんのテーマソング」ダンス披露</li> <li>・「ゆるキャラグランプリ」139位</li> </ul>	<p>マスコットキャラクター「道風くん」を活用することで、「書のまち春日井」について分かりやすく幅広い世代にPRすることができた。</p>	<p style="text-align: center;">A</p> <p>実施し、成果が得られた。</p>

カ 書を気軽に楽しむ講座、講演会等の開催

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
道風記念館講座 【道風記念館】 《再掲》	書の鑑賞の手助けとなり、書への関心と深める講座を開催 特別展等にあわせて講演会やギャラリートークを開催	【平成30年度の実績】 道風記念館講座「近現代の書の魅力」(全4回)受講者61人 臨書講座「楷書・行書・草書 三体の臨書」(全6回)受講者47人 一般向けワークショップ「名前を美しく書く」受講者数30人 特別展「琉球の書」 講演会 2回、学芸員による展示品解説 2回 企画展「坪井正庵かな作品展」ギャラリートーク 1回 館蔵品展「書体の変遷Ⅱ」学芸員による展示品解説 4回 館蔵品展「書の魅力」学芸員による展示品解説 4回 館蔵品展「近現代の書」学芸員による展示品解説 4回	書への関心を深める機会を提供することができた。	A 実施し、成果が得られた。
公民館・ふれあいセンター講座 【各公民館、各ふれあいセンター】	公民館、ふれあいセンターで講座を開催	【平成30年度の実績】 中央公民館 1講座(全8回)受講者20人 1講座(全4回)受講者10人 知多公民館 1講座(全8回)受講者12人 坂下公民館 2講座(全8回)受講者48人 東部公民館 1講座(全6回)受講者16人 南部ふれあいセンター 1講座(全6回)受講者25人	地域に身近な施設で書への関心を深める機会を提供することができた。	A 実施し、成果が得られた。



## (2) 自分史のまちづくりの推進

### ア 自分史の魅力を紹介する文化事業の充実

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
自分史事業 【かすがい市民文化財団】	「日本自分史センター」を拠点に、自分史相談、自分史講座、公募自分史事業などを実施	【平成30年度の実績】 「演劇×自分史プロジェクト」(平成29年度～令和元年度) 市民向けワークショップ 17回 延べ683名参加 ワークショップ成果披露公演(有料) 2回 鑑賞者267名 自分史相談 毎週火・金曜日午後、相談無料 自分史講座 エッセイ講座((全10回)受講者20人 大人のための文章講座(全6回)受講者16人	自分史と演劇のコラボレーションにより、これまで自分史を知らなかった層にもPRする機会を創出することができた。 自分史相談や講座により、自分史を書きたい人々の支援をすることができた。	A 実施し、成果が得られた。

### イ 自分史の活動を行う団体等の支援

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化フォーラム春日井、市民会館管理 【文化・生涯学習課】	定期的に活動している自分史サークルに対し、活動認定を行い、施設使用料を減免	【平成30年度の実績】 自分史サークル7団体を自分史活動団体として認定 受付期間前の施設予約、施設の減免利用、印刷機等の無償利用を認めている	自分史サークルが継続的に活動できるよう、施設利用の面で活動を支援することができた。	A 実施し、成果が得られた。

## ウ 全国からの自分史作品の収集、公募

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
自分史事業 【かすがい市民文化財団】 《再掲》	「日本自分史センター」を拠点に、自分史相談、自分史講座、公募自分史事業などを実施	【平成30年度の実績】 自分史センターへの作品寄贈 80タイトル 蔵書8,120タイトル 書籍の貸出 76冊 自分史センターだけではなく、文化情報プラザに書架を設置し、自分史書籍を配架 第16回掌編自分史全国公募「旅に遊び 旅に学ぶ」 応募作品154作品、優秀作品を掲載した作品集を刊行	自治体設置の自分史専門図書館としては、全国唯一の施設として、自分史作品の収集を進めることができた。 自分史作品を公募・審査し、作品集を刊行。書き手だけでなく、新たな読み手の創出を図ることができた。	A 実施し、成果が得られた。

## エ インターネット等を活用した日本自分史センターの事業展開

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
自分史事業 【かすがい市民文化財団】 《再掲》	「日本自分史センター」を拠点に、自分史相談、自分史講座、公募自分史事業などを実施	【平成30年度の実績】 自分史センターへの寄贈された作品リストを文化財団ホームページに掲載 第16回掌編自分史全国公募「旅に遊び 旅に学ぶ」 応募作品154作品、優秀作品を掲載した作品集を刊行 メールによる応募を新たに受け付けることとし、これまで応募のなかった県や若い世代からの応募が増加した	市民に限らず遠方の居住者にも日本自分史センターの自分史事業の情報を発信し、全国的に認知度の向上を図ることができた。	A 実施し、成果が得られた。

評価指標に基づく実績

成果指標	現状値	目標値		実績値
	2016年度	2021年度	2026年度	2018年度
小野道風公奉賛全国書道展覧会(道風展)への応募作品数	6,458点	6,700点	7,100点	6,321点
自分史講座の受講者数	53人	60人	70人	79人

< 参考 >	基準値	実績値
	2016年度	2018年度
小野道風公奉賛全国書道展覧会(道風展)の鑑賞者数	5,778人	5,017人
自分史事業(自分史センター利用、公募自分史出品、自分史講座、演劇×自分史プロジェクト)への参加者数	631人	1,326人

## 施策ごとの評価

事業の評価	特記事項
<p>A 概ね計画どおりの成果が得られた</p> <p>B 成果が得られた事業が多かった</p> <p>C 成果が得られた事業は少なかった</p> <p>D 成果は得られなかった</p>	<p>書と自分史は春日井市が文化振興施策の柱としている取り組みであり、その魅力を広く発信していくことが望まれる。そうしたなかで、「演劇×自分史プロジェクト」はこれまでになかった手法で自分史に取り組んでおり、新たな層の掘り起しに一定の効果があったと評価できる。</p> <p>書については、特別展「琉球の書」など、これまであまり取り上げられてこなかったテーマでの展覧会開催は、新たな挑戦として評価できる。また、初心者や子ども達を対象とした取り組みがされており、評価できる。</p> <p>一方、道風記念館の観覧者は9,000人程度と、館を訪れたことのない市民も少なくないため、旧来の書愛好家や専門家に応えるような質の高い展示を提供するとともに、新たな来館者を呼び込む方策を検討する必要がある。</p> <p>また、「書のまち春日井」を広めていくためには、道風記念館を核とした事業展開を継続するとともに、市内の様々な施設でも書について学び体験する機会を提供したり、市外から訪れた人々に「書」や「小野道風」について知ってもらう機会を創出するなど、幅広い展開が今後の課題である。</p>

## 施策7 文化財・伝統文化の保存・継承・活用

### 施策ごとの事業の成果

#### (1) 文化財の保護・活用

##### ア 歴史的文化財の調査研究の推進と保護、保存

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化財の保護・調査 【文化財課】 《再掲》	指定文化財や郷土 芸能保存団体に対す る補助金交付、文化 財の適切な管理 遺跡の発掘調査、出 土遺物や民俗資料 の調査・整理	【平成30年度の実績】 ・「小木田の棒の手」「伊多波刀神社奉納流鏑馬」用具購 入補助、「密蔵院建造物」火災報知器設置補助など13 件 ・郷土芸能登録団体 41団体 会員数1,166人 保存伝承事業補助 27件、用具修理・購入事業補助8 件 ・文化財防火デーに合わせ、密蔵院にて防火訓練を行い、 市内各所に保存・保管されている指定文化財の防火デ ー巡視を実施 ・桜佐下五反田遺跡発掘調査(7,000㎡) ・市内遺跡調査概要報告書刊行 ・「高座山第1号墳」発掘調査報告書刊行 ・「茅の輪くぐり」、「総天王祭」聞き取り調査	指定文化財所有者と連 携し、文化財の適切な 管理・保管状況を維持 することができた。 郷土芸能保存団体に補 助を行い、活動継続を 支援することができた。 発掘調査や民俗聞き取 り調査を実施し、報告書 を刊行することで文化財 の記録・保存を進めるこ とができた。	A 実施し、成果 が得られた。

## イ 文化財を活用した伝統文化の発信事業の開催

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
春日井まつり 【市民活動推進課】	市庁舎周辺で、小野道風に因んだ書道パフォーマンスなど春日井の特色ある催しを実施	<b>【平成30年度の実績】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パレードに「道風平安朝行列」、「棒の手」(出川町・小木田・神屋町・大留下棒の手保存会)、「流鏝馬装束」(伊多波刀神社奉納保存会)、神楽(六軒屋、関田神楽保存会)が参加</li> <li>・ステージで神楽(松本・六軒屋・両社宮・大留下・伊多波刀神社・坂下町神楽保存会)、獅子神楽(外之原中獅子神楽伝紹介)が演技披露</li> <li>・中央公園で「棒の手」(小木田、出川、大留下保存会)演舞披露</li> <li>・中央公園に「流鏝馬体験コーナー」(伊多波刀神社)設置</li> </ul>	指定文化財を多くの市民に披露することで、普段民俗文化財を目にする機会が少ない市民にも情報発信することができた。	<div style="text-align: center;">A</div> 実施し、成果が得られた。
文化財の活用 【文化財課】	市民が文化財に親しむ機会として、内津文化財祭やハニワまつりなどの啓発イベントを開催	<b>【平成30年度の実績】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内津文化財祭 会場:内々神社 参加者1,000人</li> <li>・ハニワまつり 会場:ニ子山公園 参加者9,000人</li> <li>・下街道ガイドマップのデジタルパンフレット作成・インターネット配信</li> </ul>	啓発イベントの開催等によって地元住民を始めとする多くの市民に文化財の重要性と文化財保護の必要性を広くPRすることができた。	<div style="text-align: center;">A</div> 実施し、成果が得られた。

### ウ 文化財、民俗資料等に関する展示の充実

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化財の活用 【文化財課】 《再掲》	市民が文化財に親しむ機会として、企画展示等を実施し、展示内容に合わせた講座等を開催	【平成30年度の実績】 ・中央公民館内 民俗考古展示室 来場者6,157人 「春日井古墳散歩」「ひなまつり」など企画展示を6回開催 ・古代史講座 年3回開催 受講者285人 ・親子体験教室 6回開催 参加者191人 ・出張展示「なつかしの置き薬」を坂下・鷹来公民館で開催 ・白山神社古墳出土遺物再整理し、企画展示・パンフレット作成・特別講座(3回、237人受講)実施	企画展示に合わせた親子体験教室や講座を開催することで展示に対する理解を深めることができた。	A 実施し、成果が得られた。

### エ 文化財ボランティアの活動の推進

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化財ボランティアの育成 【文化財課】	貴重な文化財や歴史及び伝統文化を次世代に伝え、文化財保護を啓発する文化財ボランティアを育成	【平成30年度の実績】 ・会員数 43人 ・ステップアップ研修 5回開催 受講者159人 ・養成講座 全2回 9人が受講し、7人が文化財ボランティアの会に加入 ・小学3年生の社会科校外学習対応として、民俗展示室等の説明、市民向けに内々神社等での文化財ガイド等に従事 ・ボランティア協働事業「昔の暮らし☆体験くらぶ」等開催 ・ボランティア自主事業「文化財探訪ウォーキング」開催	養成講座の実施により、新規会員を獲得することができ、ステップアップ講座により質の向上を図ることができた。 協働事業や自主事業により活動の活性化を図ることができた。	A 実施し、成果が得られた。

## (2) 子どもたちが伝統文化に親しむ機会の提供

### ア 子どもたちが伝統文化に触れ、関心を高める機会の提供

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
かすがい文化フェスティバル 【かすがい市民文化財団】 《再掲》	茶華道や和楽器などの伝統文化や工作、書道などを体験できるワークショップを開催	【平成30年度の実績】 スペシャルデイ 7月29日(日)363人 オープニングコンサート 体験講座:茶道、華道、三味線、琴、大正琴、和太鼓、日本舞踊、和装、書道など14講座(協力:文化協会・美術協会)	小学生にはなじみの薄い茶華道、日本舞踊などの伝統文化や書などを体験する機会を提供することができた。	A 実施し、成果が得られた。
児童館事業 【子育て子育て総合支援館】	自由に来館し親子で楽しく遊ぶ場所を提供するとともに、各種講座や教室を実施	【平成30年度の実績】 来館者 66,593人(乳幼児29,925人、小学生6,654人、中高生 1,348人、大人 28,666人) ・遊びつなごう伝承遊び(将棋教室) 2回実施 参加者20人(小学生対象)	小学生対象に伝統的な遊びである将棋に触れる機会を提供することができた。	A 実施し、成果が得られた。
子育て支援、子育て支援事業 【交通児童遊園】	子ども同士や親同士の仲間作りのための出会いの場を提供するため、様々な事業を実施	【平成30年度の実績】 ・子育て支援事業 将棋教室 全4回 参加者 16人(小学生対象) キッズ大会・教室 陶芸教室、和太鼓体験教室ほか9回 参加者 延べ110人(小学生対象) ・子育て支援事業 わらべうたベビーマッサージ 3回、和太鼓体験教室1回 参加者 36人(幼児23人、保護者13人)	小学生や幼児とその保護者を対象に、将棋やわらべうたなど伝統的な遊びに触れる機会を提供することができた。	A 実施し、成果が得られた。



事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
郷土芸能保存 【文化財課】	郷土芸能の保存団体と児童が交流できる環境整備	【平成30年度の実績】 ・郷土芸能出前講座 篠木小学校3年生109人と小木田棒の手保存会始め4団体が参加	郷土芸能出前講座の実施をきっかけに保存団体の活動に加わる小学生があるなど、後継者育成につながる支援をすることができた。	A 実施し、成果が得られた。

### イ 子どもたちが行う伝統芸能等の発表の場の提供

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
春日井まつり 【市民活動推進課】	市庁舎周辺で、小野道風に因んだ書道パフォーマンスなど春日井の特色ある催しを実施	【平成30年度の実績】 ・パレードに「道風平安朝行列」、「棒の手」(出川町・小木田・神屋町・大留下棒の手保存会)、「流鏝馬装束」(伊多波刀神社奉納保存会)、神楽(六軒屋、関田神楽保存会)が参加 ・ステージで神楽(松本・六軒屋・両社宮・大留下・伊多波刀神社・坂下町神楽保存会)、獅子神楽(外之原中獅子神楽伝紹介)が演技披露 ・中央公園で「棒の手」(小木田、出川、大留下保存会)演舞披露 ・中央公園に「流鏝馬体験コーナー」(伊多波刀神社)設置	指定文化財や郷土の芸能の発表に、小中学生等が参加し、多くの市民に披露する機会を提供することができた。	A 実施し、成果が得られた。

評価指標に基づく実績

成果指標	現状値	目標値		実績値
	2016年度	2021年度	2026年度	2018年度
民俗考古展示室の観覧者数	7,130人	7,500人	8,000人	6,157人

< 参考 >	基準値	実績値
	2016年度	2018年度
講座等（親子体験教室、古代史講座、特別講座）への参加者数	672人	713人

## 施策ごとの評価

事業の評価	特記事項
<p>A 概ね計画どおりの成果が得られた</p> <p>B 成果が得られた事業が多かった</p> <p>C 成果が得られた事業は少なかった</p> <p>D 成果は得られなかった</p>	<p>文化財を適切に保存・管理し、後世に継承していくため、調査が継続的に行われていることは評価できる。今後も古文書資料を含む文化財の調査を継続し、成果を広く市民に公開するなど文化財の活用方法の検討が今後の課題である。</p> <p>民俗芸能や伝統文化の保存・継承については、高齢化が進む中で後継者が不足しているなど、社会的な課題が大きい。そういったなかで、文化財担当課の取り組みだけではなく、春日井まつりや子育て支援施設においても、小中校生を始めとする若い世代が、民俗文化財や伝統文化に触れる機会が数多く提供されていることは、評価できる。今後も各種の取り組みを継続し、若い世代を担い手として民俗芸能や伝統芸能を保存・継承していくことが望まれる。</p>

### 基本目標3 文化を通じた連携のまちづくり

#### 施策⑧ 分野を超えた連携の推進

##### 施策ごとの事業の成果

#### (1) 文化芸術と他の分野との連携

##### ア 地元大学と市、文化財団との連携の強化

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
市民第九演奏会 【文化・生涯学習課(実行委員会に事業委託<事務局:中部大学>)】	合唱及び演奏を行う市民に練習の場と発表の場を提供し、市民手作りの演奏会を開催	【平成30年度の実績】 2018春日井市民第九演奏会 12月2日(日) 出演者 328人(指揮者・ソリスト5人、交響楽団80人、合唱団214人、賛助出演29人) 入場者 875人【完売】(A1,500円、B1,000円)	実行委員会の事務局を務める中部大学、市、市民の三者協働により、出演者と鑑賞者に貴重な機会を提供することができた。	A 実施し、成果が得られた。
人形劇フェスティバル 【かすがい市民文化財団】	人形劇フェスティバル実行委員会と共催し、市内外のアマ・プロ人形劇団が合同で公演を実施	【平成30年度の実績】 12月9日(日)文化フォーラム春日井・視聴覚ホールほか 人形劇公演(有料) 作って遊ぼうコーナー・紙芝居ライブ(無料) 出演者 11団体(愛知県立大学人形劇サークルとびねこ、中部大学子育てすくすく隊ほか) 鑑賞者 334人	大学生サークルを含む市内外のアマ・プロ劇団が協働し、親子が参加型で楽しめる機会を提供することができた。	A 実施し、成果が得られた。

イ 商工会議所、商店街等と市、文化財団との連携の強化

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
「書のまち春日井」発信 【文化・生涯学習課】	商標、着ぐるみの貸し出し、グッズの制作・販売等を実施 ゆるキャラグランプリにエントリーし、市内外にPR	【平成30年度の実績】 ・商標の貸出(商品への道風くんイラスト無料使用許可) 大相撲春日井場所(座布団やパンフレットに使用) ・着ぐるみの貸出(福祉施設や一般企業へ無料貸出) ・道風くんグッズ 公共施設のほか、春日井市観光コンベンション協会(JR春日井駅Lirick)、市内書店で委託販売	商工会議所や民間企業にもマスコットキャラクター「道風くん」を幅広く活用してもらうことができた。	A 実施し、成果が得られた。
友の会事業 【かすがい市民文化財団】	自主事業のチケット先行発売・割引購入が可能な有料会員制度。市内の様々な店舗が提携ショップとなっており、会員サービスを実施	【平成30年度の実績】 友の会会員(有料) 1,172人 提携ショップ 39店舗 提携ショップは松竹大歌舞伎・春日井まつり前夜祭などの公演会場で、関連商品の販売なども実施	市内商店等と提携し、友の会会員に各種サービスを提供することができた。 また、提携ショップと協力し、来場者が市内商店の商品を楽しむことができた。	A 実施し、成果が得られた。

### ウ 企業・団体等による子どもの芸術鑑賞支援

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
自主文化事業 (鑑賞系事業) 【かすがい市民文化財 団】 《再掲》	年齢や性別、社会的 状況等に関わらず誰 もが芸術を鑑賞でき る機会を提供	【平成30年度の実績】 東部市民センターで開催した2公演で地元企業の協賛によ り、小学生以上の親子100組200人を招待	地元企業の協賛により、 小学生とその保護者に 芸術鑑賞の機会を提供 することができた。	A 実施し、成果が 得られた。

## (2) 幅広い分野での芸術文化の活用の促進

### ア 福祉施設、病院等での文化事業の開催

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
まちかどコンサート 【文化・生涯学習課】 ＜単年度事業＞ 《再掲》	コンサートグループ 「花の詩」と協働し、 市内各所でコンサ ートを開催	【平成30年度の実績】 文化フォーラム春日井、市民病院、東部市民センター、福祉 の里レインボープラザ、市内デイサービスセンターほかでコ ンサートを12回開催 鑑賞者 計2,153人、出演者 延べ80人	市民グループと協働し、 市民に身近な場所でク ラシックの生演奏を楽し める貴重な機会を提供 することができた。	A 実施し、成果が 得られた。
あ〜とふるマイタウン(芸 術家等派遣事業) 【文化・生涯学習課】 《再掲》	音楽、書、伝統芸能 に関する芸術家を公 民館や学校等の身 近な施設に派遣	【平成30年度の実績】 実施プログラム 9、実施回数 21回(前年度比2回減) ＜内訳＞ 音楽(クラシック・和楽器)4プログラム、12回 書(篆刻を含む)3プログラム、3回 伝統芸能(落語・日本舞踊)2プログラム、6回	保育園や小学校、地区 社会福祉協議会などか ら予定回数を上回る応 募があり、市民に鑑賞・ 体験の機会を提供す ることができた。	A 実施し、成果が 得られた。

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
かすがいどこでもアート・ドア 【かすがい市民文化財団】 《再掲》	学校や保育園、福祉施設などにアーティストを派遣し、特別授業やコンサートを実施	【平成30年度の実績】 派遣アーティスト 5名、実施回数 12回(前年度比2回減) <内訳> 俳優・演出家 3回、文芸(歌人) 3回 美術家 4回、舞踊(ダンサー) 1回、音楽(ギター) 1回	文化財団のミッションに基づく普及啓発事業の柱として実施。芸術を身近で感じられる機会を提供することができた。	A 実施し、成果が得られた。

### イ 文化芸術による地域の絆づくりの推進

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
あ〜とふるマイタウン(芸術家等派遣事業) 【文化・生涯学習課】 《再掲》	音楽、書、伝統芸能に関する芸術家を公民館や学校等の身近な施設に派遣	【平成30年度の実績】 実施プログラム 9、実施回数 21回(前年度比2回減) <内訳> 音楽(クラシック・和楽器)4プログラム、12回 書(篆刻を含む)3プログラム、3回 伝統芸能(落語・日本舞踊)2プログラム、6回	地区社会福祉協議会などが親睦を図る機会を提供し、地域の絆づくりに寄与することができた。	A 実施し、成果が得られた。
文化財団情報誌「FORUM PRESS」 【かすがい市民文化財団】 《再掲》	自主文化事業を中心とした芸術文化情報及び施設に関する情報を掲載した情報誌を発行	【平成30年度の実績】 A4サイズ16ページ フルカラー 隔月(年6回) 10,000部 ・自主文化事業に関する情報 ・フォーラムプレスレポーター(ボランティア)による公演感想記「私のレポート」 ・春日井に関わる人にインタビューした「あの人と、春日井と」 ・「校歌は地域をうたう」「PiPi提携ショップガイド」などの地域にまつわるコンテンツ	地域に関わるコンテンツを充実させることで、市民の地域への愛着を醸成する機会を提供することができた。	A 実施し、成果が得られた。

### 評価指標に基づく実績

成果指標	現状値	目標値		実績値
	2016年度	2021年度	2026年度	2018年度
大学や企業、各種団体等と市、文化財団との連携による事業の参加者数	1,546人	1,600人	1,700人	2,420人

### 施策ごとの評価

事業の評価	特記事項
A 概ね計画どおりの成果が得られた	<p>新しい社会のあり方が求められるなか、文化芸術の分野と福祉、教育、まちづくり、観光、産業などの他分野と連携することが求められている。そういったなかで、地元大学や福祉施設、教育機関、地元企業と協力して事業展開できたことは評価できる。</p> <p>特に中部大学は地域の中で大きな役割を果たしているのも、より一層の連携が望まれる。</p> <p>また、他分野と協力・協働し、文化芸術が生み出す効果を活かしていく取り組みが今後より一層望まれる。</p>
B 成果が得られた事業が多かった	
C 成果が得られた事業は少なかった	
D 成果は得られなかった	



## 施策9 文化による地域の活性化

### 施策ごとの事業の成果

#### (1) 市民の文化交流の推進

##### ア 地域で行う祭り等の文化活動の支援

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
区・町内会等活動支援事業 【市民活動推進課】	区・町内会等の自主的・主体的に行う活動の推進を図るために助成金を交付	【平成30年度の実績】 ・助成金交付 251団体 世帯数 82,621世帯 町内会加入率 61.3% ・自主的・主体的な活動(盆踊り大会、秋祭りほか)	継続して区・町内会等の事業活動に対し、支援を行うことができた。	A 実施し、成果が得られた。
郷土芸能保存 【文化財課】 《再掲》	郷土芸能の保存団体の支援、郷土芸能の保存団体と児童が交流できる環境整備、郷土芸能出前講座	【平成30年度の実績】 ・郷土芸能の保存団体の支援 27団体 会員数1,166人 保存伝承事業 27件、用具修理・購入補助8件 ・郷土芸能出前講座 篠木小、小木田棒の手保存会始め4団体	郷土芸能出前講座の実施をきっかけに保存団体の活動に加わる小学生があるなど、後継者育成につながる支援をすることができた。	A 実施し、成果が得られた。

### イ 地域に身近な会場での鑑賞・交流機会の提供

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
あ〜とふるマイタウン(芸術家等派遣事業) 【文化・生涯学習課】 《再掲》	音楽、書、伝統芸能に関する芸術家を公民館や学校等の身近な施設に派遣	【平成30年度の実績】 実施プログラム 9、実施回数 21回(前年度比2回減) <内訳> 音楽(クラシック・和楽器)4プログラム、12回 書(篆刻を含む)3プログラム、3回 伝統芸能(落語・日本舞踊)2プログラム、6回	保育園や小学校、地区社会福祉協議会などから予定回数を上回る応募があり、市民に鑑賞・体験の機会を提供することができた。	A 実施し、成果が得られた。
かすがいどこでもアート・ドア 【かすがい市民文化財団】 《再掲》	学校や保育園、福祉施設などにアーティストを派遣し、特別授業やコンサートを実施	【平成30年度の実績】 派遣アーティスト 5名、実施回数 12回(前年度比2回減) <内訳> 俳優・演出家 3回、文芸(歌人) 3回 美術家 4回、舞踊(ダンサー) 1回、音楽(ギター) 1回	文化財団のミッションに基づく普及啓発事業の柱として実施。芸術を身近で感じられる機会を提供することができた。	A 実施し、成果が得られた。

### ウ 生涯学習活動団体、外国人住民を含む市民団体等の交流の推進

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
生涯学習情報発信 【文化・生涯学習課】	公民館・ふれあいセンター等で定期的に活動する団体を認定し、生涯学習活動を支援	【平成30年度の実績】 ・生涯学習活動団体登録数 718団体、13,794人(施設使用料の減免) ・生涯学習情報サイト 生涯学習活動団体等の情報を集約し、インターネット上で発信	市内各所の公共施設で活動する団体を登録団体とし、様々な団体の活動を支援することができた。	A 実施し、成果が得られた。

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
公民館まつり・ふれあいセンター芸能発表会 【各公民館・各ふれあいセンター】 《再掲》	公民館・ふれあいセンターで活動する同好会の成果発表会を開催	【平成30年度の実績】 中央公民館 19団体出演・出展、延べ参加者1,572人 知多公民館 24団体出演・出展、延べ参加者1,220人 鷹来公民館 38団体出演・出展、延べ参加者2,112人 坂下公民館 33団体出演・出展、延べ参加者1,489人 東部公民館 24団体出演・出展、延べ参加者1,996人 南部ふれあいセンター 延べ参加者385人 西部ふれあいセンター 延べ参加者1,449人	地域で活動する様々な団体に成果発表の機会を提供するとともに、各団体の交流を図ることができた。	A 実施し、成果が得られた。
市民との協働促進 【市民活動支援センター】	ささえ愛センター市民交流会議を開催 ささえ愛センターまつりを開催	【平成30年度の実績】 ・ささえ愛センター市民交流会議 12回 登録団体197団体 ・ささえ愛センターまつり 4月15日(日) 主催 ささえ愛センター市民交流会議、春日井市 参加団体 63団体(外国人が加入している団体を含む) 来場者 2,700人(市内在住外国人を含む)	外国人を含む市民活動団体相互の交流を図る機会を提供することができた。	A 実施し、成果が得られた。

## エ 市民団体への小中学校施設の開放

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
学校施設開放 【文化・生涯学習課】	地域住民の生涯学習活動やコミュニティ活動の推進を図るため余裕教室を地域の団体に開放	【平成30年度の実績】 ・学校施設開放 白山小学校、牛山小学校、石尾台小学校 ・松原学習センター 活動団体8、講座等 8講座、利用者 3,704人	余裕教室を活用し、地域住民に開放し、生涯学習活動やコミュニティ活動を推進する機会を提供することができた。	A 実施し、成果が得られた。

事業名	概要	事業内容・実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
学校体育施設開放 【スポーツ課】	平日や土日の夜間に、小中学校の体育館等を一般に開放	【平成30年度の実績】 ※スポーツ目的での利用を含む 小中学校 体育館 52校 利用者 275,940人 中学校 武道場 15校 利用者 27516人 県立高校 校庭(グラウンド)8校 利用者 339人	学校の利用のない時間帯において体育館等を開放し、地域住民の活動を推進することができた。	A 実施し、成果が得られた。

### 評価指標に基づく実績

成果指標	現状値	目標値		実績値
	2016年度	2021年度	2026年度	2018年度
生涯学習活動団体の会員数	14,868人	15,000人	15,000人	13,794人

## 施策ごとの評価

事業の評価	特記事項
<p>A 概ね計画どおりの成果が得られた</p> <p>B 成果が得られた事業が多かった</p> <p>C 成果が得られた事業は少なかった</p> <p>D 成果は得られなかった</p>	<p>地域に伝承されてきた郷土芸能等については、高齢化が進むなかで後継者が不足しているなど、社会的な課題が大きい。そういったなかで、地域の活動を支援し活性化を図ることは、地域コミュニティの醸成にもつながる意義あるものであり、大いに評価できる。</p> <p>生涯学習活動団体についても、高齢化により会員数の減少がみられる現状に対し、交流を促す取り組みなどがなされており、評価できる。</p> <p>今後は、高齢化が進むなかでこういった取り組みが有効なのか検討することが望まれる。</p>

## (2) プラン全体(計画期間1年目)の評価

施策ごとの評価で、「大いに評価できる」とした項目があり、また「評価できる」とした項目も多い。これらのことから、計画1年目のプラン全体の評価としては、概ね計画どおりの成果が得られていると認められる。

次年度は「評価できる」とした項目が、大きな成果を上げ「大いに評価できる」に変わることを目指して、更なる事業推進が望まれる。

(自己評価については、次年度からは「大きな成果を上げたもの」「ある程度の成果を上げたもの」を区分し、5段階評価に改めるよう要望する。)

一方、施策③「インターネットでの地域の文化情報の発信」や施策④「市民メセナ基金の運用方法の検討」など「必要がある」「今後の課題である」とした項目は、十分な事業展開ができていないと評価したものである。これらについては、施策推進のため具体的な対策を講じる必要があると考えられるため、次年度以降対策を講じていくことが求められる。特に市民メセナ基金については、PRを強化し寄附を募る方策を早急に講じる必要がある。

その他、「文化活動団体等の活発な活動の促進」や「『書のまち春日井』の推進」、「文化財を活用した伝統文化の発信」など、「望まれる」とした項目は、現時点での事業展開に加え、更なる向上のための取り組みを検討すべきと評価したものである。これらについては、高齢化の進行など社会情勢の変化もあるため、1～2年で効果が上がるような対策よりも、長期的な視野で検討を重ねていくことが望まれる。特に「『書のまち春日井』の推進」については、当市の文化施策の柱であるので、より一層のPRが必要である。

また、施策ごとの成果指標については、施策①・③・⑤のアンケートによって計る項目は今回測定していない。それ以外の施策②・④・⑥～⑨については、施策⑧以外いずれも、目標に近づけていない。文化の成果を数値で判断することは難しい側面もあるが、今回参考として上げた項目も含め、目標に近づくことができるよう、今後の事業展開が望まれる。